

# データ利活用の促進の方向性

データ利活用の促進を図るため、今後数年をかけて、

**人材育成** **ICT環境整備** **仕組み（ルール）の構築**

の3つの視点で計画的に取り組を進めます。



## 人材育成



- 全職員のデータリテラシーの向上
- 専門的なスキルを駆使して業務に取り組む「データ利活用人材」の一定数の育成

## ICT環境整備



- データの収集・分析・共有等をスムーズに行えるICT環境の整備
- 導入するICTツール等の利用促進

## 仕組みの構築



- 庁内又は庁外の様々な人がデータを有効に活用できる仕組みの構築
- データに基づく政策評価や政策立案等を行うための仕組みの構築

# 令和6年度の取組み

データ利活用の促進のカギとなる

**「データ利活用人材」の育成**に注力！

R6年度  
**20名**  
育成！

## 人材育成の取組み



### ①データ利活用実践研修

実課題をテーマとし、実データを使って分析等を行うことでデータ利活用スキルを身に付ける実践型研修。

### ②動画学習サービスの活用

データ利活用に関するオンライン学習動画も多数掲載されているサービスの活用。

## 仕組みの構築の取組み



### ①仕組みの検討【0予算】

庁内のデータの棚卸や共有等の実施に向けた検討。

## ICT環境整備の取組み



### ①BIツールの導入

データを可視化して政策立案や課題の特定等を支援するBIツール（Tableau）導入。

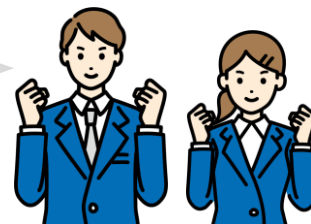
### ②BIツールの利活用支援

令和6年度から導入するBIツールの有効な活用を促進するための支援。

### ③人流分析ツールの導入

GPS情報などを基に通行量や滞在者数、回遊動線、移動手段等を把握できる人流分析ツールの導入。

研修を受けて、ICTツールを使いながらデータ利活用スキルを習得します！



# データ利活用人材の育成スケジュール（予定）

- データ利活用人材については、R6年度からの3年間で最大60名育成する方向で検討する（各年度20名追加）。
- 各データ利活用人材には、育成の1年目で研修により必要なスキル等を身につけてもらい、2年目には支援を受けながら各部局の課題解決を進めてもらう。3年目以降は各部局を牽引する存在になることをめざしてもらう。

## 3年目～（レベル3・自立期）

各部局のデータ利活用人材がこれまでの研修等により身につけたスキルや蓄積したノウハウ等を部局内の職員と共有することなどにより、各部局のデータ利活用の促進を図る。

最大60名

企画政策部	4名
総務部	3名
財務部	3名
情報政策推進部	4名
経済産業部	3名
まちづくり部	3名

最大40名

企画政策部	4名
総務部	3名
財務部	3名
情報政策推進部	4名
経済産業部	3名
まちづくり部	3名

△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名

## 2年目（レベル2・支援期）

1年目に身につけたスキル等を活用して、各部局が抱える課題の解決等を図り、情報政策推進部はその取組みに適切な支援を行う。

最大20名

企画政策部	4名
総務部	3名
財務部	3名
情報政策推進部	4名
経済産業部	3名
まちづくり部	3名

△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名
△△部	4名

□□部	4名
□□部	4名
□□部	4名
□□部	4名
□□部	4名

## 1年目（レベル1・育成期）

情報政策推進部において、データに基づく政策立案に係る実践的なスキルやBIツール等ICTツールの基本的なスキル等を身につけるための研修等を実施する。

R6年度

R7年度

R8年度